



2018年度

IE改善塾

トヨタ生産方式に学ぶ改善の進め方




改善着眼点
の習得

と き 2018年9月6日(木)・7日(金)

と ころ 1日目 9/6(木) 中部生産性本部 セミナールーム (豊島ビル11階)

現場研究先 2日目 9/7(金) 豊田鉄工(株) 本社工場
【主な製品】 ブレーキペダル、クラッチペダル、
パーキングブレーキ、ボディ部品

講 師 造り方研究所 おがぐち まさはる
尾ヶ口 正春 氏

講師プロフィール

1966年 豊田合成(株)入社。製造業務に従事した後、生産調査室へ異動。
以後、約20年にわたってTPS(トヨタ生産方式)の推進に携わり、その実践を通して
TPSの真髓を学び、社内・関連会社を指導する。2007年に同社を定年退職の後、
同年、造り方研究所を設立。現地現物の視点からモノづくりの指導に携わると同時に、
製造業における人材育成に取り組んでいる。

★ご参加のお願い

競争力に優れる現場を作り上げ、それを高い水準で維持・向上していく為には、基本的なIE手法を活用、駆使しつつ、効果を上げる為に有効な対策(改善)を講じていかねばなりません。

そこで本セミナーでは、改善を進める上での様々な手法、切り口の中から、ジャスト・イン・タイム(JIT)・自動化の概念を二本柱として、リードタイム短縮を意識した停滞のないモノづくりを目指す「トヨタ生産方式」を支えるモノの見方・考え方を学びます。併せて、実際にトヨタ生産方式を導入して改善を進める生産現場の見学を通して、IE推進者、現場改善担当者として改善推進のために必要な考え方、手法、スキルの獲得を目指します。

★内容

1日目 9月6日(木) : 中部生産性本部 セミナールーム(豊島ビル11階)
造り方研究所 尾ヶ口 正春 氏

講 義 10:00~17:00

I. トヨタ生産方式を支えるモノの見方・考え方

1. トヨタ生産方式とは
2. ムダの排除による原価低減(7つのムダ)
3. 見かけの能率と真の能率、稼働率と可動率
4. 停滞の少ないモノづくり(如何に停滞をなくすか)
5. ジャスト・イン・タイムと自動化
6. 少人化とは

II. 標準作業

1. 標準作業の目的
2. 標準作業の3要素
(タクトタイム・作業順序・標準手持ち)
3. 標準作業の三票
(工程別能力表・標準作業票・標準作業組合せ票)
4. 改善を進めるための4M(人・モノ・設備・方法)
からみた着眼点

III. ジャスト・イン・タイム(JIT)の推進

1. ジャスト・イン・タイムを仕組みで捉える
2. リードタイム短縮を阻害する原因とは
3. かんばんの目的と使い方
4. 段取り替え改善の進め方(内段取りと外段取り)

IV. 職場における実践・展開に向けて

1. トヨタ生産方式から見た
4MとS(安全)・Q(品質)・C(コスト)の関係
2. 目指す姿(改善の姿)の決め方
3. 改善を受け入れる組織風土の醸成
4. 全ての基本となる行動哲学
 - ①改善魂とは
 - ②ニーズ先行が前提
 - ③三現主義が土台
 - ④論より実践(議論は停滞)

2日目 9月7日(金) : 豊田鉄工(株) 本社工場

現場研究 9:00~13:40

① 会社概要説明

② プレゼンテーション

「豊田鉄工(株)における
トヨタ生産方式の展開と現場改善」

豊田鉄工(株)

本社工場工場長

牧 慶之 氏

③ 工場見学(現場研修)

④ グループディスカッション

昼食・休憩

⑤ 発表・質疑応答

まとめ 13:40~14:40

造り方研究所

尾ヶ口 正春 氏

★ 開催要領

対 象 製造、生産管理、生産技術担当者等

と ころ <座 学> 1日目【2018年 9月 6日(木) 10:00~17:00】

会 場: 中部生産性本部セミナールーム

集 合: 右記会場へ **9:55** までにご集合願います。

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階

【アクセス】地下鉄伏見駅(東山線・鶴舞線)下車

1番出口より徒歩5分

※駐車場はございません。

<現場研究> 2日目【2018年 9月 7日(金) 9:00~14:40】

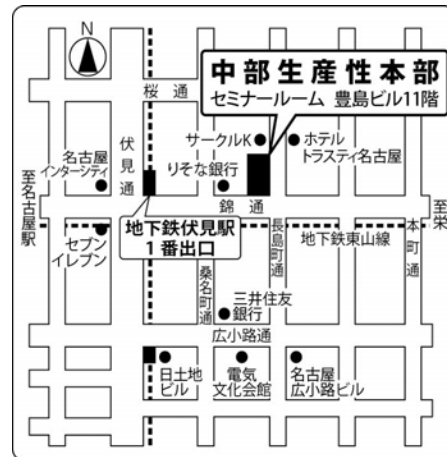
会 場: 豊田鉄工(株) 本社工場

・名鉄三河線「豊田市駅」よりバスにて移動

・マイカーでのご来場はご遠慮下さい。

詳細につきましては、参加証にてご案内申し上げます。

【1日目 座学会場略図】



◆ 持ち物

2日目の工場見学時は、**安全靴、帽子、保護メガネ(眼鏡をかけている方も必要)**が必要となりますので、各自お持ち下さい。

◆ 服装

クールビズ(ネクタイ不要)で開催します。(Tシャツ、ジーパンは不可)

◆ 昼食

1日目(9/6(木))は会場周辺にて各自お召し上がり下さい。

2日目(9/7(金))は事務局にてご用意しております。

参加費 中部IE協会会員 34,560円
 一 般 56,160円
 (消費税込) ※上記参加費は1名につき、資料代、昼食代(9/7のみ)、消費税を含みます。

申込方法 ①お申込み受付後、参加申込書(裏面) **1** の宛先に請求書及び当日参加証(人数分)をご送付申し上げます。参加証は参加者へお渡しいただき、当日受付へ各自でお持ち下さい。
 ②参加費は、9月5日(水)迄に指定の銀行口座へお振込み願います。振込手数料は、お客様にてご負担下さい。
 口座名義:中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱東京UFJ銀行鶴舞支店	普通 No. 1602917	名古屋銀行上前津支店	当座 No. 3116141
愛知銀行本店営業部	当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店	当座 No. 494070
中京銀行本店営業部	当座 No. 112438		

③8月30日(木)以降の参加キャンセルについては、参加費の返金を致しかねますので代理の方をご派遣願います。
 ④当日、会場での録音・写真撮影はご遠慮下さい。
 ⑤申込締切日 **8月30日(木)**・・・お申込みが遅れる場合は予めご連絡下さい。
 ⑥受入先の同業に相当する方のご参加をお断りする場合があります。

※ 個人情報の取り扱いについて

- 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<http://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
- お申込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。
- 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問合せ窓口 担当:齋藤 TEL052-221-1261】

お申込み・問合せ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)
 TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265
<http://www.cpc.or.jp> 担当: 広瀬・永井

2018年度 I E 改善塾 参加申込書

会社名 <フリガナ>
〒 -
住所
TEL () - FAX () -

1	所属部署 役職名	氏名	フリガナ
	E-mail		
2	所属部署 役職名	氏名	フリガナ
	E-mail		
3	所属部署 役職名	氏名	フリガナ
	E-mail		
4	所属部署 役職名	氏名	フリガナ
	E-mail		

●中部IE協会 ホームページからも
お申込みいただけます！

中部IE協会 

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日()]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(34,560円・56,160円) [消費税含む] × 名 = 円

(事務局記入) 請求 / No.202018